

# 県南地方の農林業

清らかな源流を生かし、次代につなぐ県南の農林業



**がんばろう ふくしま!**

～ふくしまの農林水産業を応援してください～



福島県県南農林事務所

平成23年 8月

# 1 県南地方の概要

## (1) 地勢

県南地方は、首都圏から東北圏への入口に当たる福島県の最南端に位置し、栃木県・茨城県に接し、白河市をはじめとする1市4町4村からなり、その面積は1,233.24km<sup>2</sup>(西白河地方612.30km<sup>2</sup> 東白川地方620.94km<sup>2</sup>)で、県土の8.9%を占めています。

東部に阿武隈山系、西部に奥羽山系、南部に八溝山系があり、西白河地方のほぼ中央を北に向かって流れる阿武隈川と東白川地方の南部を南東に向かって流れる久慈川の流域に沿って平野部が開けています。



## (2) 気候

県南地方の気候は、複雑な地形と山系の接近によって山岳気候の影響を強く受け、管内西部に位置する西白河地方では比較的冷涼で気温が低く、降雨量が多いのに対し、東南部の東白川地方は温暖で積雪は極めて少ない気候となっています。

なお、白河合同庁舎の標高は356.63mに位置しています。



## (3) 人口

管内の人口は、平成23年5月1日現在、148,976人(49,557世帯)で、県人口の7.4% (世帯数で6.9%)を占めており、その内訳を見ると、西白河地方が76.6%(同78.2%)、東白川地方が23.4%(同21.8%)を占めています。

また、平成23年3月1日と比較すると、人口729人(22世帯)の減で、減少率は、0.5%(世帯0.04%)となっており、県の減少率0.9%(世帯0.4%)と比べ低位となっています。(福島県の推計人口)

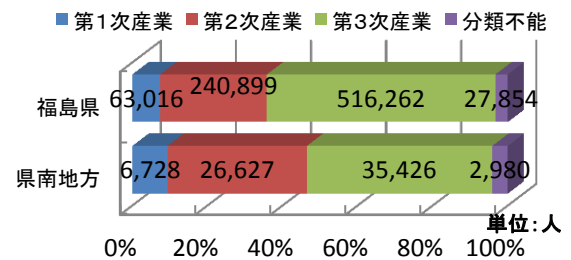
# 2 農業・農村・森林林業

## (1) 就業者構造

管内の就業者総数(15歳以上)は71,761人で、産業別の内訳は、第1次産業が9.4%、第2次産業が37.1%、第3次産業が49.4%をそれぞれ占めています。

管内の第1次産業就業者の内訳を見ると、農業が94.1%、林業が5.5%、漁業が0.4%を占めています。(H22国勢調査概要)

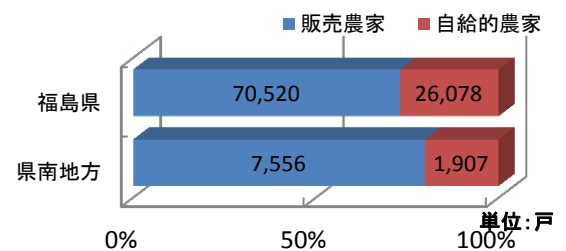
産業別就業構造(平成22年)



## (2) 農家数・林家数

管内の総農家数は9,463戸で県全体の9.8%を占め、内訳を見ると、販売農家が79.8%(7,556戸)、自給的農家が20.2%(1,907戸)となっています。また、管内の林家数は、4,641戸で、県全体の10.9%を占めています。(2010年世界農林業センサス)

総農家数の構成割合(平成22年)



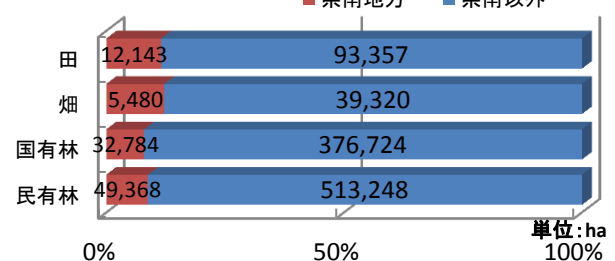
## (3) 耕地面積・森林面積

管内の平成21年度の耕地面積は17,623ha(田12,143ha、畑5,480ha)で、県全体の11.7%(田11.5%、畑12.2%)を占めています。(第57次福島農林水産統計年報)

また、管内の平成21年度の国有林・民有林の面積は、国有林が32,784ha、民有林が49,368haで、県全体に占める割合は、それぞれ8.0%、8.8%となっています。

(H22福島県森林・林業統計書)

耕地・森林面積(平成21年度)



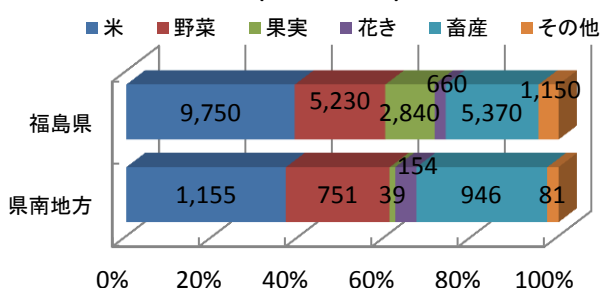
## (4) 農業産出額

管内の平成18年度の農業産出額は312億6千万円で、県全体の12.5%を占めています。

管内の農業産出額の内訳は最も多いのが米で115億5千万円で36.9%、次いで畜産の94億6千万円で30.3%、野菜の75億1千万円で24.0%、花きの15億4千万円で4.9%の順となっています。

管内の農業産出額は、県全体の農業産出額が減少傾向にある中で、平成15年までは増加で推移し、平成16、17年には

農業算出額の構成割合(平成18年度) (単位: 千万円)



減少したものの、平成18年には再び増加に転じ、前年より3億4千万円(1.1%)増加しております。また、農家1戸当たり所得の順位は、中島村(3位)、矢吹町(4位)、泉崎村(5位)となっています。

(第54次福島農林水産統計年報)

### (5) 農産物の生産状況

管内における主要農作物の生産は米をはじめ、トマト、レタス、ブロッコリー、しゅんぎくなどです。

管内の米、トマト、レタス、ブロッコリー、しゅんぎくの作付面積は、米が9,873ha(H21)、トマトが124 ha(H18)、レタスが75 ha(H18)、ブロッコリーが191ha(H18)、しゅんぎくが32 haとなっており、県全体に占める割合で見ると、米12.2%、トマト23.8%、レタス47.8%、ブロッコリー29.8%、しゅんぎく26.2%となっています。

管内の米、トマト、レタス、ブロッコリー、しゅんぎくの収穫量は米が53,350t(H21)、トマトが8,854t(H18)、レタスが1,637t(H18)、ブロッコリーが2,481t(H18)、しゅんぎくが330tとなっており、県全体に占める割合で見ると、米12.2%、トマト29.0%、レタス62.0%、ブロッコリー41.4%、しゅんぎく23.6%となっています。また、トマト及びレタスの収穫量は白河市が県内で1位の収穫量で、ブロッコリー及びしゅんぎくの収穫量は、中島村がそれぞれ県内で2位、3位の収穫量となっています。

平成22年時の管内の乳用牛、肉用牛、豚の飼養頭数は、乳用牛が3,787頭、肉用牛が8,563頭、豚が35,820頭となっており、県全体に占める割合で見ると乳用牛19.7%、肉用牛13.6%、豚26.3%となっています。また、乳用牛の飼養頭数は西郷村が県内で3位の飼養頭数で、豚の飼養頭数は塙町が県内で4位の飼養頭数となっています。

管内の平成20年度の素材生産量は143千m<sup>3</sup>であり、県全体に占める割合は19.2%となっています。

平成21年度の木炭・生しいたけの生産量は、木炭が299,200kg生しいたけが1,001tとなっており、木炭は鮫川村が、生しいたけは白河市が県内で1位の生産量となっています。

(第54次、第57次福島農林水産統計年報、H22福島県森林・林業統計書、2010年世界農林業センサス)

### (6) ほ場整備の状況

管内の耕地面積のうち、平成22年度の田、畑を合わせた整備率は56.9%(水田の整備率66.9%、畑の整備率34.5%)となっており、県平均の59.8%(それぞれ69.3%、37.4%)を若干下回っています。

(「福島県のほ場整備率」：福島県農業基盤整備課)

### (7) 農業集落排水処理施設の整備状況

管内ではいち早く農業集落排水処理施設の整備に取り組んでおり、平成21年度末の公共下水等を含めた污水处理施設等の普及率は82.0%(うち、農集排26.1%)となっており、県平均の73.1%(うち、農集排6.6%)を大きく上回っています。

(福島県統計年鑑2011)

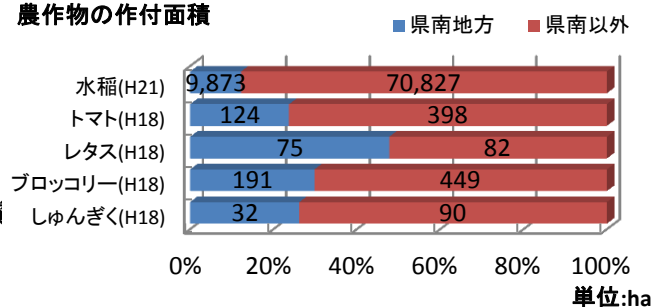
### (8) 林道の整備・保安林の指定状況

管内における平成21年度の林道延長は379,945mで、林道密度は7.68m/haとなっており、県平均の林道密度7.24m/haを上回っています。なかでも、東白川郡については10.83m/haと県内で最も高い林道密度となっており、素材生産に大きく貢献しています。

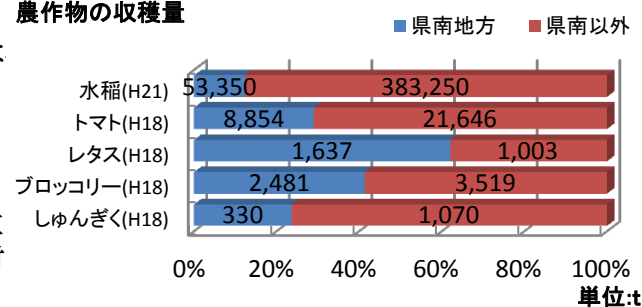
また、管内における平成21年度の保安林面積は4,292haで、昭和55年度の保安林面積(2,286ha)の188%にまで伸びており、安全・安心のできる暮らしの実現を図るため計画的な保安林の指定と保安林内の森林の維持造成さらには計画的な治山事業を実施しています。

(H22福島県森林・林業統計書)

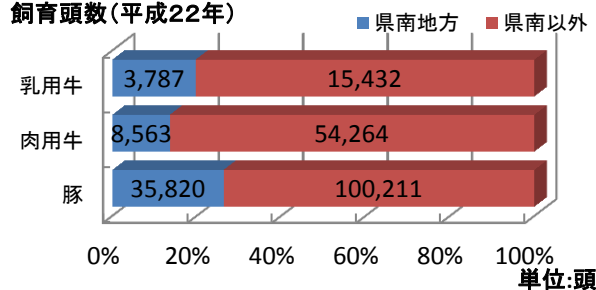
農作物の作付面積



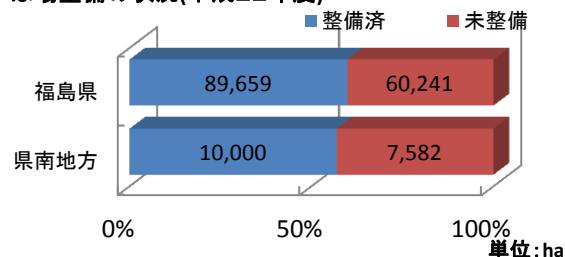
農作物の収穫量



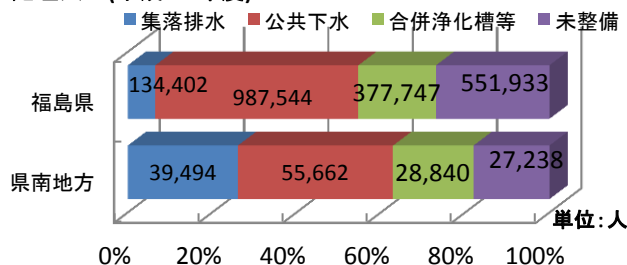
飼育頭数(平成22年)



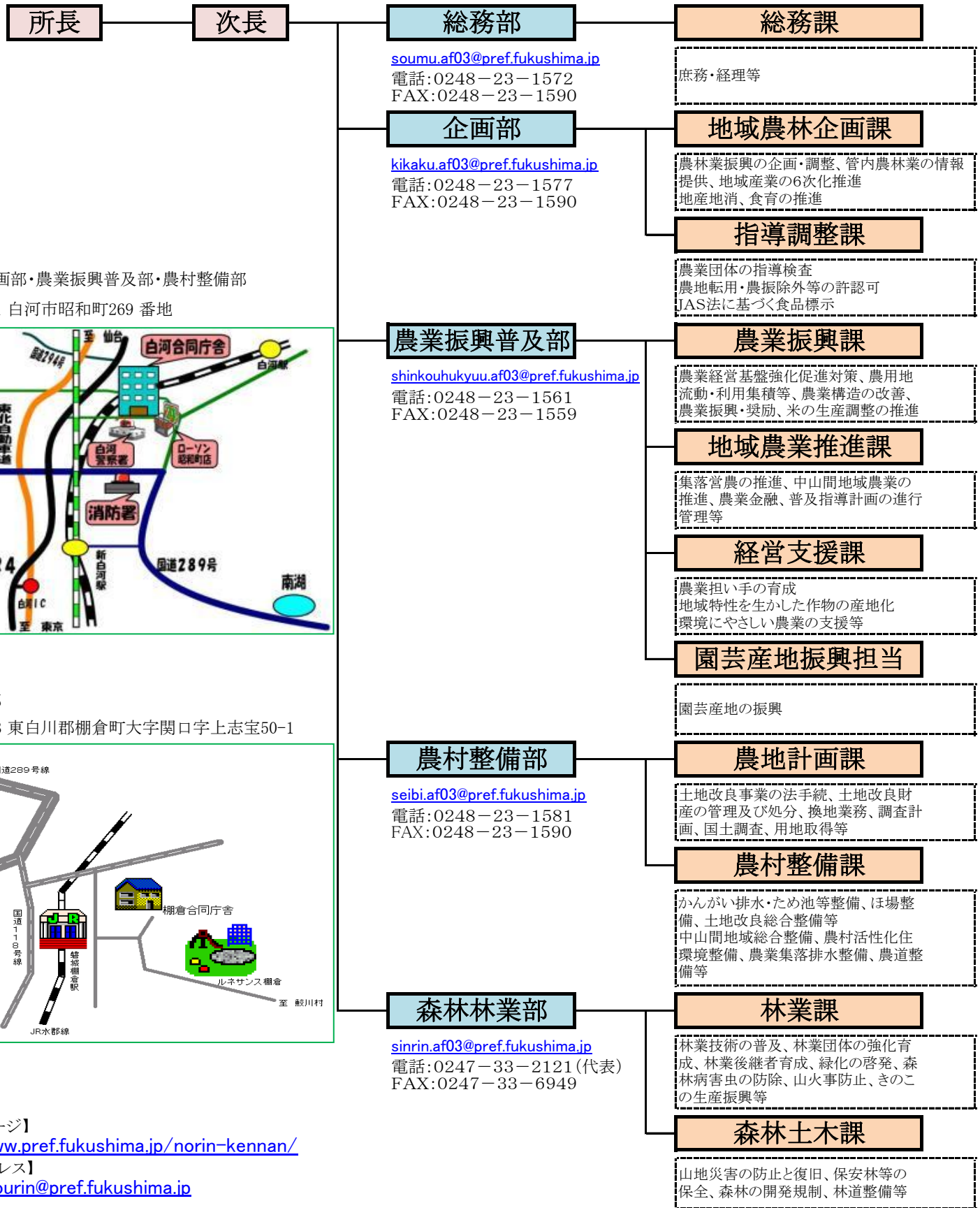
ほ場整備の状況(平成22年度)



処理人口(平成21年度)



# 県南農林事務所組織体制図



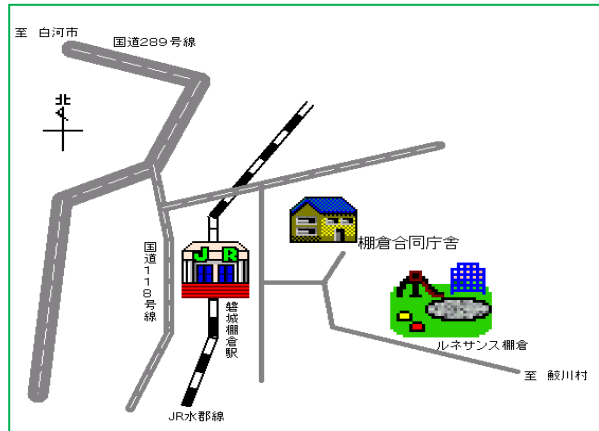
**【所在地】**

総務部・企画部・農業振興普及部・農村整備部  
 〒961-0971 白河市昭和町269 番地



**森林林業部**

〒963-6123 東白川郡棚倉町大字関口字上志宝50-1



**【ホームページ】**

<http://www.pref.fukushima.jp/norin-kennan/>

**【メールアドレス】**

[kennan.nourin@pref.fukushima.jp](mailto:kennan.nourin@pref.fukushima.jp)

**【表紙写真】**

